

「個人調査書」作成上の注意（保護者又は保証人作成）

1 記入上の注意

- (1) 令和6年12月1日までの事項を記入する。
- (2) 黒のボールペンで記入し、誤記を訂正する場合はインク消し等は使用せず、二重線で訂正し、記載者が訂正印を押す。
- (3) 性別は、該当する一方の文字を○で囲む。
- (4) 住所欄には住民票のと通りの住所を記入する。
- (5) 保護者の現住所が本人の住所と同じである場合は、「本人に同じ」と記入する。
- (6) 「教育歴」は、保育所、幼稚園、学校等、古い方から順に記入する。
- (7) 「手帳」は、取得又は申請中のものすべて記入する。無い場合は、「無」の文字を○で囲む。
- (8) 「障害について」の欄の結果及び所見は、医学的専門的診断に基づき記入し、診断した検査機関名も記入する。
【てんかん発作、肢体まひ、聴覚の障害、視覚の障害、医学的治療・訓練、服薬、アレルギー】に関する項目は、該当する一方の文字を○で囲み、その内容を記入する。
- (9) 「興味・関心・特技等」「行動・性格面」「家庭で留意していること」「学校で指導する際に留意してほしいこと」の欄は、できるだけ具体的に記述する。
- (10) 「高等部入学後の通学方法」は、該当する一方を○で囲み、他の方法を希望している場合は、その他の項目に内容を記入する。
- (11) 「最寄りの停留所又は駅」は、通学方法に関わらず、最も近い箇所を記入する。
- (12) 「高等部卒業後の希望進路」は、現在の希望を記入する。
例) 一般事業所への就労 通所施設希望 入所施設希望
 グループホームを利用して生活的自立を目指したい など
- (13) ※欄は、記入しない。

(注) 保護者又は保証人の直筆で記入してください。